



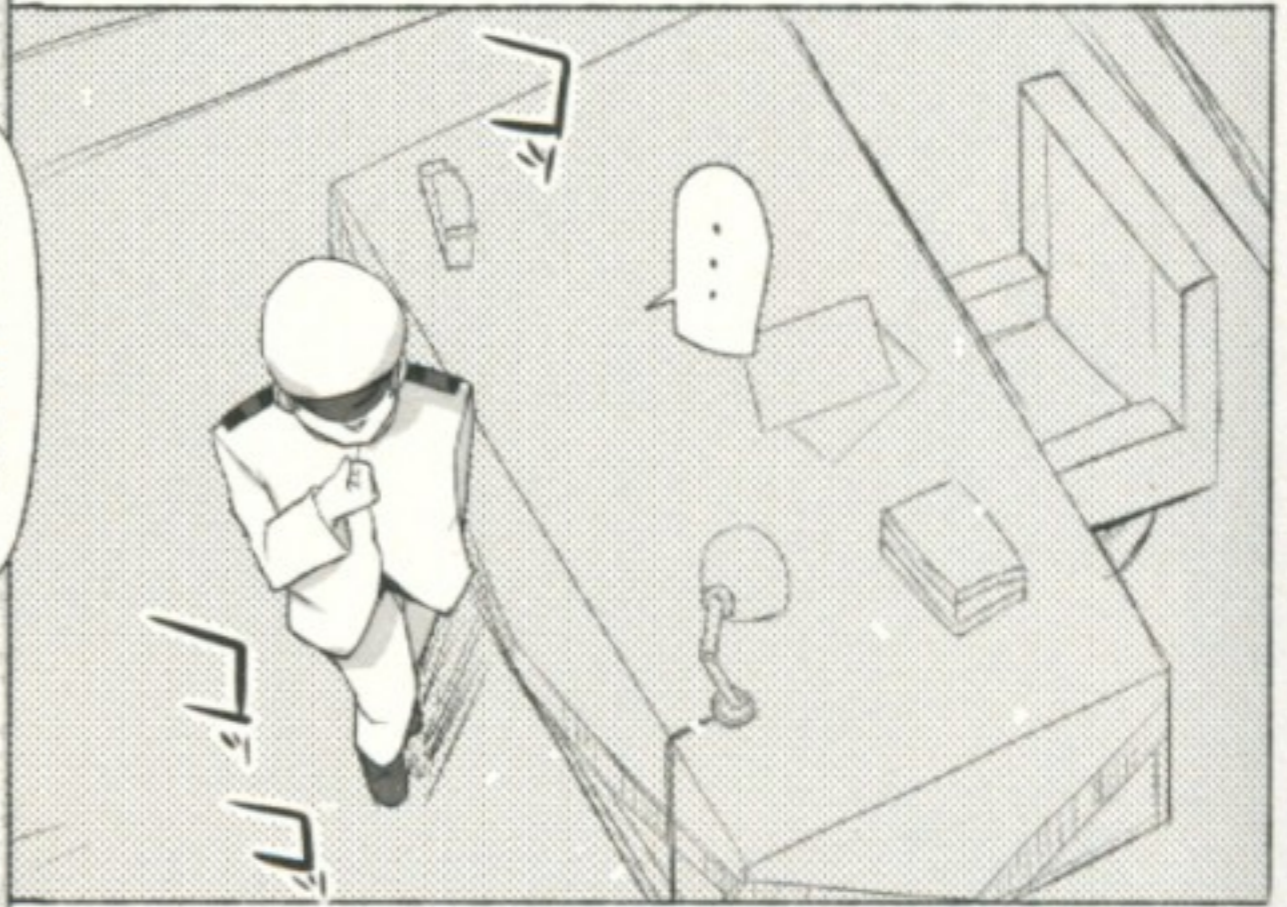
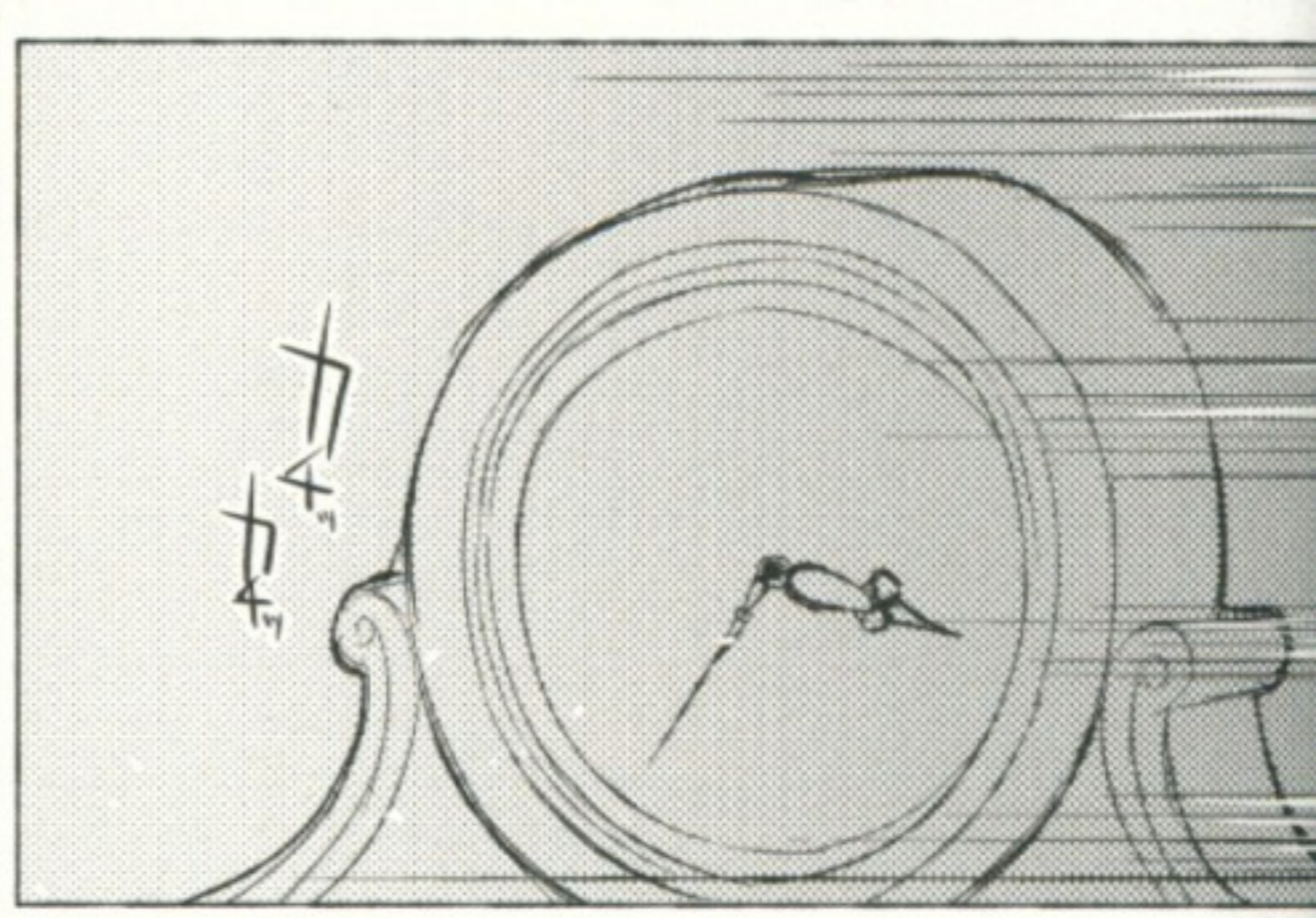
**LOVE
IS THE
DRUG**
成年コミック



提督、艦隊が
帰還したぞ

損害は小破が
僕含めて二人

今日も特に問題は
発生しなかった
安心してくれ



失礼する

メメチャ



初月っ、
初月っ……！

それに彼に
心配されるのも
悪い気分ではない



もう少し僕達を
信用してくれ

勿論、提督が僕を
信用しているのは
わかっている



ああ……
良かった……
心配したぞ！

またそんな……
お前は少し
過保護すぎるな

チヤ

帰還後、そのまま
僕は彼の部屋で
愛し合う

初月っ……!!
気持ちいいかい?

あっ、ああ……
勿論っ!

あふ……
あふ……

あふ……
あふ……

あふ……
あふ……
あふ……

それが彼との
なつつもの日課に
ない

さて……
そろそろ
いいかな

またかい?
まあ、僕は
イヤではないけど

最近、その日課に
新しいモノが
入ってきた

それが
このクスリだ

……



最初は当然
僕だって
不審に思った



初月、飲んで

うん……

行為の最中に
これを一粒
必ず飲む



その、初月を
もっと気持ちよく
してあげたくて

そういうのは
僕はいいよ……
今でも十分
だからさ

そうか……
ならいいんだ



提督、そんな
危なそうなもの
大丈夫なのかい？

一応合法の範囲、
だそうだ



……



それが、
効果観面だった

でも、お前が望むなら
一度試してみようか



初月、
どうだい？

とにかくクスリは
僕に良く効いた
タガが外れた
みたいになって



強い高揚感に
僕は提督を
求め続けた

こんな感覚は
初めてだった



初月っ……
愛してるよ……

その日の行為は
翌日の執務に
支障が出る程だった

それ以降、
毎日の様に僕達は
クスリを使った

提督……
来てくれ……

おは
おは
おは

提督曰く
副作用の心配も
無いようだ

あまりにも
効きすぎるから
不安だけど

僕自身、生活に
支障が出ている
ワケでもない

おは
おは
おは

おは
おは
おは

おは
おは
おは

それに……
彼が僕にウソを
つくとは思わない

お前は……
気持ちいいかい??

ああ……っ
凄く締まって……
たまらないよ

変な気分だが
クスリを使う事を
通じて僕は提督を
信用しているコト

おは
おは
おは

提督が僕を
信用しているコトが
解る気がしている

おは
おは
おは

おは
おは
おは

おは
おは
おは

おは
おは
おは



初月っ……
そろそろ
射精すよっ！



初月、
もっと……っ

今日は帰還が
早かった分
愛し合う
時間も長い苦

今日も僕は
何度も強い絶頂を
味わうだろう



ぐあっ……

ドッ……



ん……

本当にそのまま
一晩中に
なるなんてな、
お前は困った奴だ

いつも悪いな、初月
出撃後にこんな……

いいんだ、
僕だってお前の事が
欲しくなるから

ほら、補給は
大切だろ？

ははっ……
そうだな



それに、僕は
もっと強いクスリ
でも大丈夫だと……
思う



でも、流石に
ああいうクスリは
……

イヤじゃないさ



そういう言葉が
自然に出たのは
僕自分驚いた

じ……

もしかしら、
思っでいる以上、
僕はクスリに
依存しているのかも……

ちよつと……っ
恥ずかしいから
あまり見ないでくれ

わ、悪い初月……

んんんん

んん



その、本当にいいの？

クスリと提督によって自分がどうなってしまうのか？

勿論いいさ

ズッ

どうやらこの薬は直接局部にすると良く効くらしいんだ

という感覚がその……とても楽しい



だから……

ハッ



どんな感じだ？

ああ……いつもよりゾクッとするな……

僕は多分提督が思ってる以上にこの状況を好んでいる気がする

はっ

でも大丈夫だ、心配しないで、奥までもう濡れてるから

はっ



そのまま
一気に
来てくれ...

初月...

あ...

うああっ...
き、キツっ...!

は、初月
大丈夫か？



「アッ...」...
凄いでっ...

は、初月
大丈夫か？

身体……
溶けるっ

HC

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク
ゴクゴク
ゴクゴク

ゴクゴク
ゴクゴク

ゴクゴク
ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

提督を僕の
奥深くで感じるっ……

ゴクゴク
ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク
ゴクゴク

すまないっ……
気持ち良過ぎて
止まらないっ……

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

ゴクゴク
ゴクゴク

こんな気持ちいいのを
続けたい
おかしくなつて……

いや、僕が
既におかしく
なってるから
ここまでっ...

僕は今クスリでっ、
気持ちよく
なり過ぎてる.....っ



初月は
どうだっ？





……あつ、
凄いのが来る

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

ダメになるのが
クッ……！



っ……
はああ

あ
あ
あ

限界だっ……



初月ッ……！

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ

クッ

クッ

クッ

クッ

クッ



別の薬も
合わせてみようか…
今日は使う気は
無かったんだが…

そのまま、
舐め取って…

あ…

あ…

あ…

あ…



あ…

あ…

ん
あ…

あ…

あ…

コレっ…
頭が追いつかない

あ…

あ…



クスリのせいであ
どんだん頭が
悪くなってるのが
解る…っ！

初月ッ…
がっつき
過ぎだから…！

あ…

でもっ…
提督が望むなら…
何だっで…
いつだっで…

あ…

あ…

あ…

あ…

う、おっ！





初月……
こんな事
ダメなのは
当然解っている

はい

応酬物から
少しだけ
拝借してきた

あ……

僕の頭が
混乱している

提督も、
クスリも……



今、俺が
飲んだのは
……本物だ

はっ



だから……!!

お前の
気持ちは
わかった



だけど、
あれだけ乱れる
初月を見ていたら
本物だったらと
考えると

全部ウソなのか
本当なのかわ
解らない……

もう、抑えが
効かないんだ……



いいよ……
提督、
お願いだから

僕の事を滅茶苦茶に
したいのだけは解る

提督がとても強く
僕を求めている

それが、
たまたまなく
嬉しいんだ……

僕にも
そのクスリ、
使ってくれ……



急に回りが
冷たくなつた
みたいになつて

寒いのに……
外に触れてる所から
僕が溶けていってる
みたいにつ……

凄く怖いっ

アッ……
グッ……

僕が無くなつて
しまいそう……



は、初月
俺ももうっ……!



提督が
来たあつ

初月っ……
おっつ！

これっ……
やばいぞっ……

凄く熱くて

いつもと
全然違うッ

頭がっ、
ど気持ち良いのがっ

初月っ……
もっつ……！

本当に
まずいっ……



初月は俺のモノだって……!

提督のが僕を押し広げて

解らせるっ……

奥の奥まで、染み込んでくるっ……!

妻の………
妻の………
妻の………

絶対につ、誰にも渡さないからなッ……!



こんなのと比べたら僕たちかお遊びじゃないか

お前を滅茶苦茶にできるのは俺だけなんだ……

今、本当にうっになってる



これを知ったら

愛してるっ……

……もう、戻れない

アッアッアッ

このまま二人で
どこまでも
滅茶苦茶になって

はぁ
壊れていく
しかないんだ……

アッアッ

アッアッアッ

アッアッ

アッアッ

アッアッ

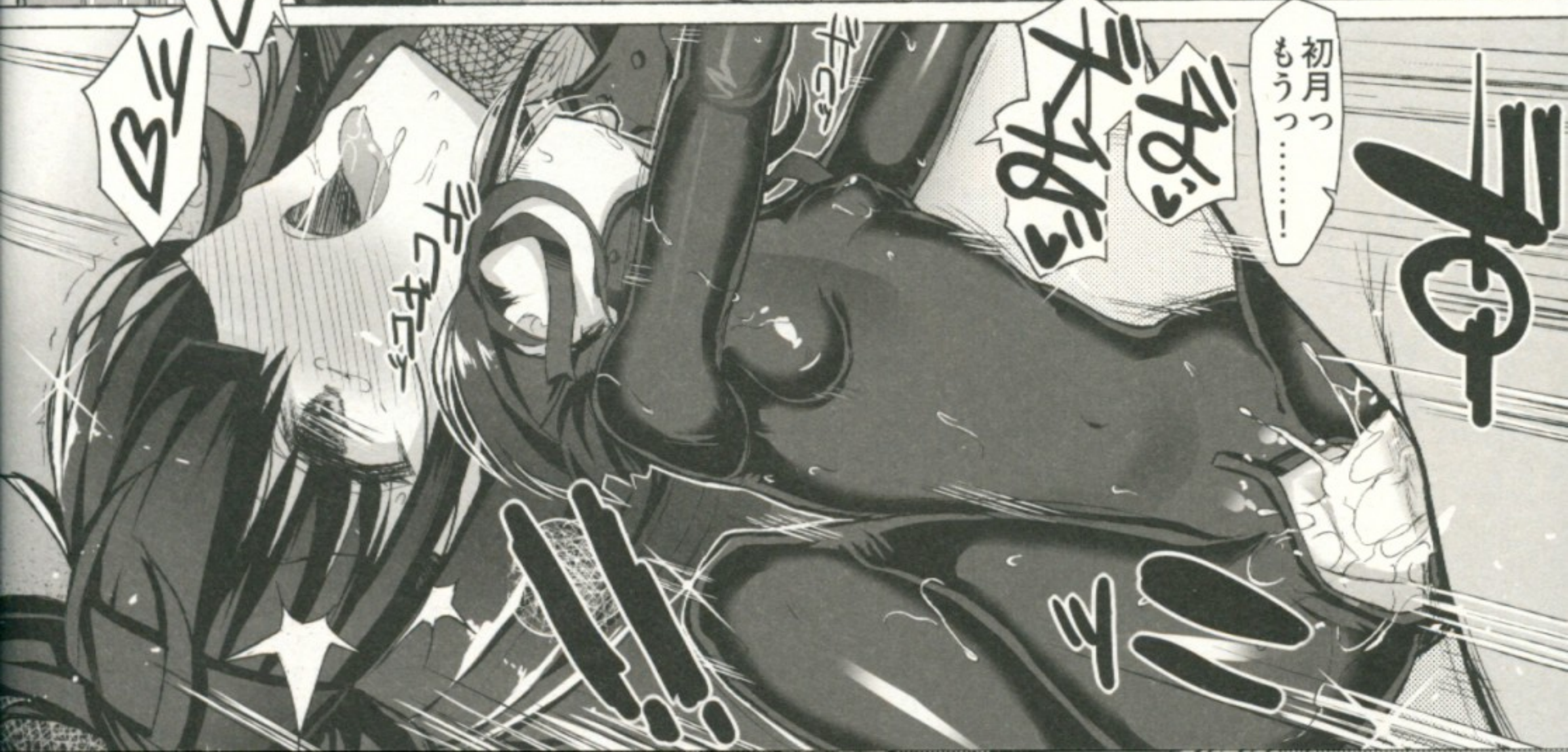
初月っ
もうっ……!

アッアッ

アッ

アッアッ

アッ



アッ
アッ
アッ



アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



もうダメだ...
僕が...
終わっちゃう...

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



いいんだ、初月
少し嬉しい位
なんだから

……そういう
モノかな？



すまない……
お前を傷つけて
しまったみたいだな



ああ、僕なら
……大丈夫だけど？

僕はその時提督に
初めてウソをついた



初月こそ
大丈夫か？

僕かい？

はっきりと今日の行為は
マトモじゃなかった
けれど……



僕はそういう
女になつて
しまったんだと
思ったけど……

後ろめたさ、
僕はそれも
嬉しいと思つて

愛してるよ
……提督

心の
少し
笑つた

INST
ADULT ONLY

TITLE : LOVE IS THE DRUG
CIRCLE : INST
AUTHOR : Interstellar
DATE : 17/04/29
PRINT : Ueno Printing Co., Ltd
WEB : <http://instovdr.sakura.ne.jp/>
MAIL : instovdr@hotmail.com